

会 議 録

会 議 名	第 2 9 期小金井市公民館運営審議会第 1 6 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 2 1 年 3 月 2 7 日 (金) 午後 3 時 0 7 分から午後 4 時 4 5 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A ・ B		
出 席 委 員	大橋委員長 内古閑委員 長田委員 竹内委員 君塚委員 道城委員 佐野委員 木村委員 熊谷委員		
欠 席 委 員	田頭副委員長		
事 務 局 員	中嶋館長 山崎庶務係長 松本事業係長 鈴木主査 渡辺主査 長堀主査 若藤主査 渡辺 (陽) 社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 大阪府阪南公民館運営研究協議会の視察研修について</p> <p>(2) 平成 2 1 年度予算について</p> <p>(3) 各館事業の報告について</p> <p>(4) その他</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 平成 2 1 年度東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員の選出について</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画について</p> <p>(2) 第 2 9 期公民館運営審議会のまとめについて</p> <p>(3) その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 各館事業の報告</p> <p>(2) 各館事業の計画</p> <p>(3) 平成 2 1 年度公民館事業計画</p> <p>(4) 平成 2 1 年度予算事項別明細書</p> <p>(5) 第 1 5 回公民館運営審議会会議録</p>		

会 議 結 果

- 大橋委員長 第16回公民館運営審議会を開催いたします。それでは事務局からお願いいたします。
- 中嶋館長 お手元に当日配付資料として、21年度公民館事業計画差し替え分、21年度の公民館運営審議会の年間日程表、公民館事業の計画緑分館追加分、月刊こうみんかん4月1日号をご配付してあります。それでは第15回審議会会議録についてですが、既に皆さんに確認済みで清打ちしたものです。ご承認よろしいでしょうか。
- 大橋委員長 会議録についてご承認いただけますでしょうか。
- 委員 よろしく申し上げます。
- 中嶋館長 ありがとうございます。事務局からは以上です。
- 大橋委員 それでは、続きまして報告事項をお願いいたします。
- 中嶋館長 それでは、大阪府阪南公民館運営研究協議会の視察研修について、松本事業係長からご報告いたします。

1 報告事項

(1) 大阪府阪南公民館運営研究協議会の視察研修について

松本事業係長 阪南公民館運営研究協議会視察研修ということで、3月9日（月）午後1時40分から4時まで、公民館緑分館学習室Cで行いました。阪南公民館運営研究協議会の方からは、女性が3名、男性が1名、岸和田市生涯学習課の公民館係、貝塚市の山手地区、浜手地区、中央公民館の職員の方が来られました。小金井市の公民館の対応は、職員は、公民館長他全5名が出席、企画実行委員からは、末包委員、加藤委員、大井委員、池内委員の4名が出席しました。阪南公民館運営研究協議会の方が来られたきっかけというのは、月刊社会教育という月刊誌の1月号に渡辺社会教育主事が寄稿した小金井市公民館の市民講座「あなたがつくるあなたの公民館」をご覧になって、その講座に興味をもたれたということでした。渡辺社会教育主事が市民講座「あなたがつくるあなたの公民館」について、準備会の取り組み、講座の目的、内容、その後の動きについて説明をしました。市民講座でプレゼンテーションをしていただいた2名の企画実行委員の方、本町分館の大井委員からは公民館との出会い、公民館に期待すること、要望、提言について、緑分館の池内委員からは町内会についての思いと公民館の役割について話をさせていただきました。それから質疑応答を行いまして、主に小金井市の企画実行委員制度について、準備会における市民参加、職員の関わりについて、地域の情報、地域性の共通点と相違点について意見交換し、次に場所を変えまして、交流会の機会を持ちました。以上です。

大橋委員長 何かご質問がありますか。

君塚委員 大阪の公民館の方は市民参加と職員の関わりの件についてはどのようなご意見、現状をお話しになったのでしょうか。

渡辺社会教育主事 大阪と一口に言っても、実は今の話にもあったように、公民館がいくつもありまして、参考例として、いくつかの公民館の職員の悩みを聞きました。あちらにも、こちらでいう高齢者学級のようなものがあるのですが、

そこで、現代的課題を提起したいのだけれども、なかなか積極的に参加してもらえないとか、自主サークル化が難しいとか、そのような時に、企画実行委員の制度のある小金井では、委員が市民の意見を代弁して、リーダー的な役割を果たしていただいているものですから、そのような場合の職員の取り組みはどうすればよいかなど、日頃の悩みを話されていました。

中嶋館長

阪南につきましては、例えば貝塚市には3地区館があり、17人の職員がいて、シフトして夜間も勤務して対応する体制であるということでした。ちなみに岸和田市には19地区館があるとのこと。あちらにはあちらの悩みがあり、高齢者学級を実施するにも市民参画ができていない。どのように市民の方に事業に関わりを持ってもらうかについて、企画実行委員制度が小金井にもあるので非常に参考になるのではないかと、全国機関紙にも掲載されまして、そのような理由でいらしたと同席いたしまして受け止めました。

松本事業係長 付け加えますと、市民に参加して欲しくて、市民に投げかけると、それは職員がすることではと投げ返されてしまうので、どうしたら市民参加を取り入れられるかと言う悩みがかなり強いようでした。

大橋委員長 他にありませんでしたら、次の平成21年度予算についてお願いいたします。

(2) 平成21年度予算について

中嶋館長

平成21年度歳入歳出予算事項別明細書公民館部分については、予め皆さんにご送付しておりますが、個別的説明に入る前に、概要説明をさせていただきます。平成21年度の一般会計予算につきましては、前年度比較で、5.2%の減額で、350億3千700万円。生涯学習部での前年度比較で、3,256万1千円減で、11億906万4千円。公民館費は、前年度比較で3,256万1千円減の1億516万8千円となります。これは正規職員の人件費は含んでおりません。非常勤嘱託職員の人件費は含みます。なお、数字の上では減額になっていますが、内容をみますと、平成20年度に貫井南分館の耐震補強工事に4,400万円、緑分館の改修工事に1,800万円を措置したことと比較し、平成21年度には、公民館に非常勤嘱託職員を2名増員することにより、現行2名から4名となり、予算も拡大し、引き続き緑分館の改修工事経費も2,457万円措置され、減ではありません。なお、行革大綱改訂版に基づき、分館の職員を一部非常勤化することで組合合意を得て、予算措置したことによる政策的インセンティブ予算を頂き、全体的に懸案事項の多くを21年度当初予算で措置することができました。よく予算としてはまとまったということができると思います。次に具体的にご説明をいたします。まず、一次経費につきましては、生涯学習部に予算配分されたものの中で、自主的、自律的に事業の見直しを図り、要求したいものについてはスクラップ・アンド・ビルドにより生み出した予算を利用し、編成することができました。具体的に公民館運営審議会等に要する経費についてから見ていきたいと思っております。こちらについては、若干増額となっております。先ほど三者の懇談

会がありまして、その際に各々の会議報酬として予算措置されております分の1回分づつを三者合同の会に使用することにはどうかという提案がありました。図書館が年3回、生涯学習課が年10回と小委員会分、公民館が年10回分措置している分からですので、部全体での調整が必要ではないかと思いますが。次に公民館維持管理に要する経費についてですが、だいぶ大きく減額になっておりますのは、先ほどの緑分館の改修工事及び貫井南分館の耐震補強工事分が、前年度と比較して大きく数字にひらきがあるからです。それとあわせまして、負担金補助及び交付金の項目で、本町分館耐震補強工事設計負担金とありますが、本町分館は本町2丁目アパート、東京都住宅供給公社の都営住宅に入っております関係で、昭和48年の建物ということで、耐震の基準を満たしておりません。診断の結果耐震工事の必要ありとの診断があったので、設計の負担金を措置しております。これにより本町分館の耐震工事が終了しますと、それ以外の分館は東が昭和63年築、緑分館は平成3年築の建物ですので、一定どの分館も安心、安全な施設ということになります。次に、少年教育事業に要する経費につきましては、前年度比較で半分くらい減になっております。理由につきましては、国際理解教室「ハローフレンズ教室」を終了いたしまして、その予算については一部生活日本語教室経費に、また一部を「にほんごで国際交流」に組み替え、異文化異世代交流事業として成人教育事業に持ってきております。次に青年教育事業に要する経費につきましては、前年度比較で増額となっております。次に男女共同参画事業に要する経費につきましては、40万円ほど減額となっております。男女共同参画の趣旨というのは、成人教育事業の中でも、例えば高齢者の男女共同参画という視点でも事業が可能だということで、各事業で取り組むということで減額としています。次に成人教育事業に要する経費につきましては増額となっております。これは、新規の「まちづくり講座」という事業経費分、また、社会福祉協議会の大型バス借上げ料経費を増額することで、マイクロバス2回利用より1回で参加人数を増やせる等、市民サービスの向上につなげ、充実させる経費となっております。視聴覚ライブラリー事業につきましては、前年度と同様となっております。その他公民館事業に要する経費、こちらにつきましては増額となっております。本町分館菜園教室の農園、及び緑分館共働夢農園につきましては、農地の所有者のご理解も得まして、農園に水道を敷設する予算がつかしました。更に本町分館菜園教室については、土地の利用面積も拡大することができ、更なる充実を図れるものと思っております。次に、ITサポート事業に要する経費につきましては、東分館にITサポートセンターを設置する経費分が増額となっております。これにつきましては、情報活用能力育成事業を今年度で終了したことにより経費を充当したものです。何かご質問等がありましたら。

大橋委員長

何かご質問ありませんか。パソコンは全部で何台あるのですか。

中嶋館長

概算で50台くらいです。

大橋委員長

他にご質問はありますか。耐震工事の方はこれで完了ですか。

中嶋館長

本町分館の方は21年度に耐震設計、22年度に耐震補強工事、それで

完了いたします。

大橋委員長 質問、ご意見ありませんか。無ければ次、各館事業の報告をお願いします。

(3) 各館事業の報告について

中嶋館長 各館事業の報告をいたします。

松本事業係長 本館から報告いたします。成人学校「もっと知りたい、合唱の楽しみ」ということで、全3回行いました。内容をご覧のとおりなのですが、実際にみんなで声を出して歌うというより座学で合唱の歴史などについて学びました。対象の方は初めて音楽に取り組みたいという方からベテランの方までお集まりいただきました。募集人数は30名だったのですが、47名の応募がありました。かなり盛況でございまして、とても充実した内容となっております。最後の3日目、公民館の方から自主サークルを作ってみてはいかがですかと受講者の方にお声かけしたのですが、女性は賛同される方もいらしたのですが、男性があまりいらっしゃらなくて立ち消え状態です。今後、これで終わっては残念なので、21年度の自主講座の方でなんとかフォローができないかと企画実行委員の方と一緒に検討中です。この講座については、内古閑委員も参加されていらしたので、後ほどご感想をいただけたらと思います。以上です。

鈴木主査 本町分館です。まず「裁判員制度のあらまし」ということで、21年度5月から開始されますこの制度についての理解を深める目的で実施いたしました。既に12月に通知を受け取ったらしき参加者の方もいらしたようでした。八王子にあります東京地方裁判所の書記官の方が、非常に丁寧に解説してくださいました。講座の謝礼が不要なので、この制度を利用しました。当日、映像を用いての講義は大変分かりやすかったと思います。2時間程度の講義では理解が難しいのではと、もう一度家でも復習する意味で裁判所の方から参加者全員に、DVD3枚、資料とパンフレット、裁判員制度と記載されているバックを配布され、皆さん喜んで持ち帰られました。時間は短かったのですが、映像を用いて分かりやすくご講義いただきました。良かったのではないかと思います。30人募集しまして、当日参加者数は21人、男性7人、女性14人。男性が女性の50%です。平均年齢は64.9歳でした。次に成人学校「オバマ新政権を迎えた国際情勢と日本」。当初企画した段階ではまだ大統領は未定だったのですが、途中でオバマさんに決定したので、このようなタイトルに変更しました。参加者の感想に書いてあるとおり、白人ではなく、黒人の大統領ですので、人権問題が大きな問題であったこと、今後オバマ政権になったことで日本やアメリカと関わってきた国々がどのように変わるのかが大変勉強になった講座だったと思います。

中嶋館長 後ほど講師名が入ったものを次回にでもお配りいたします。大変失礼いたしました。

鈴木主査 次に成人学校「菜園教室」では、年間通して44回行いまして、別表に内容が記載されています。かなり皆さん熱心で、受講者は21人、7人づ

つ3班に分かれて行いました。これにつきましても男性の参加が女性の50%です。農業研究家の鴨下先生には大変お世話になりました。これだけやっていただいてこの謝礼しかお支払いしていないというのは、今後考えていかないといけないと担当は話しておりました。先生のお人柄から続けての受講を希望する方が多いのですが、ある程度のリピーターは残して、募集していきたいと考えております。土地所有者のご好意で、次年度から耕作地が増えることとなります。また、21年度予算で、緑分館と本町分館の菜園教室農地については、水道設備も整いますので、今までの受講者はポリバケツや長いホースを用いて近隣の市民農園や老人農園から苦労して水を運んで使用していましたので、今後参加される方にはよいのではないかと思います。以上です。

渡辺主査

貫井南分館です。子ども体験講座「ぬくい少年・少女囲碁クラブ大会」として、7月12日、11月22日、3月14日の3回実施しました。参加者は10人、10人、13人と最後に増えています。内容としましては、地域の子供達とぬくい会、老人会ですね、その囲碁クラブの方に協力していただいて、お年寄りの方が子どもたちに囲碁を教えてもらう練習の機会を3回ほど作り、その後大会の時には対戦してもらうという形で実施しているものです。参加する子ども達には初心者からかなりできる子ども達もいて、二組に分かれて対戦します。ご指導くださる方たちの人数が少なくなってきましたので、今後どう対応していくか、囲碁に興味をもった子ども達が増えてくれるかが現在の悩みどころです。以上です。

若藤主査

東分館の報告をいたします。「情報活用能力育成講座パソコン入門」として、毎年この1月、2月にかけてシリーズで実施しておりました講座ですが、先程館長からもお話がありましたが、今回は最終回でした。東中学校にも全面協力していただきまして、10回実施しました。内容については、パソコンの基本を知ろうということで、ワード、デジタルカメラ、エクセル、インターネット、電子メール等について幅広く、ある意味深い部分まで講師の先生にはご指導いただきました。東中学校のコンピュータ室をお借りしたのですが、東中学校には、講師、機材等大きなお力をいただきまして、募集人員が30名だったのですが、実際に受講した方は32名でした。平均年齢は60歳で、応募された方の年齢層は若い方は20代から最高80代の方まで各年代いらっしやいまして、全く初めてで、パソコンを持っていない方、会社で見よう見まねでやっぴらっしやる方と技量については様々な方が参加されていましたので、先生をはじめ補助講師の方も、端から見ているとやりにくい部分があったかと思うのですが、先生は非常に熱心に手取り足取り分かるまでご指導くださりまして、資料も毎回よくできたものをご用意いただきまして、予習、復習ができるような資料を事前にお渡しくださって努力されていたようでした。参加される方も皆さん初めてお越しになる方でしたが、最初のうちは質問するにも遠慮がちだったのですが、回を重ねるごとに隣の方や講師の方達とも馴染みまして、最後には皆さん和気藹々とした雰囲気でした。ここには担当者の感想しかないのでありますが、皆さんからアンケートをいただきましたら、

やはりこの冬の寒い時期、しかも夜の講座でしたので、通うのは辛かったのですが、最後まで続けて良かったとか、今回で終わりなのですが、今後もITサポートを利用していきたいとか、ステップアップしていきたいという積極的なご意見、感想がありまして、講座としては大成功だったと思います。以上です。

松本事業係長 緑分館につきましては、葛城主査が欠席ですので、私からご報告いたします。3件ございます。「イケダ自然体操」「共働夢農園」「団塊の世代対象講座」です。「イケダ自然体操」は基本的なところなのですが、実際に動作自体を上手にしていくものではなく、本来人間が持っている能力、機能に気づいて回復していくための手段であるということで、全3回行いました。参加された方も、最初は固かったのですが、最後の方は自然とリラックスしてきて、とてもいい気持ちになれましたという感想をお持ちでした。次に成人学校「共働夢農園」は毎年、野菜づくりコース、ハーブ栽培教室、親子コースを実施しているものです。それから成人学校「団塊の世代対象講座」ということで、いわゆる団塊の世代の方が大量退職して、地域に戻ってくるに際し、家庭の中に閉じこもるのではなくて、積極的に地域に参加して、仲間を作っていただくという目的で実施したものです。全3回で、「初めてのクッキング」、「九里四里うまい十三里・小江戸散策」「禅に学ぶ」ということで、特徴的な点では、実際に座禅を体験して、自分自身を見つめるということを行いました。団塊の世代対象のこの講座については、緑分館は今後も続けていくということでした。

鈴木主査 先ほどの「オバマ新政権を迎えた国際情勢と日本」の講師の方ですが、書き加えていただけますでしょうか。兵藤長雄さん、元ポーランド及びベルギーの大使、元福田外務大臣秘書官、2007年度まで東京経済大学教授をいらした方です。

中嶋館長 これをもって差し替えとさせていただきます。大変失礼いたしました。
大橋委員長 ただいまの各館事業の報告について何かご質問、ご意見ありませんか。
内古閑委員 私は本館の成人学校「もっと知りたい合唱の楽しみ」に全回出席しました。日程的に参加が可能で、合唱について関心があったから出席しました。いつもそうなさっているのかもしれませんが、講座の最初に松本さんから担当企画実行委員の紹介があったのは、働いている方の顔が見えて良かったと思いました。全回、座る場所を探すくらい大勢出席されて、皆さんの興味の対象となる講座だったのだと感じましたし、講師の方も熱心で、最後に松戸市からわざわざ皆さんを呼んで歌を披露してくださいました。男性の方が尻ごみをなさっていらっしゃるのか、その先につながらないというのが残念なのですが。なかなか私も時間がなくて講座を全部参加ということができなかったのですが、今回のように最後まで参加者が減らなかったのは珍しいのではないかと思います。「もっと知りたい」という呼びかけが良かったのかとも思いました。人を集めるというのは結構大変だと私も思っておりますので、呼びかけに工夫をしていただくことは、他の講座でも同様に大切なことなのではないかと思います。

大橋委員長 他にありますか。9ページのパソコン入門なのですが、これで、パソコ

ン講座は終了し、ITサポートセンターに移行するのですが、この内容を見ると、ウインドウズしか取り上げていないですね。私はもう2年以上ウインドウズを全く使っていないです。今、世界中でリナックスに移行しています。ヨーロッパ、特に政府関係はウインドウズを使っていないです。ディナックスは無料で、オープンソースということで、中味が公開されています。非常に性能のいいものなのですが、日本が例外的にウインドウズが盛んなのです。スーパーコンピュータもサーバーも殆どリナックスです。非常に性能のいい、安定したOSなのです。携帯電話や家電にも使われています。立ち上がりも早いし、一度使うとウインドウズには戻れないです。次第にリナックスが増えてくる情勢にあります。ウインドウズ以外に、公的機関ですから、ディナックスもマックも取り上げた方がよろしいのではないのでしょうか。これからの情勢を考えますと、是非検討して欲しいです。

中嶋館長 今のお話を受けまして、ボランティアスタッフの方をお願いしていますので、研究させていただいてということで、対応を考えさせていただきたいと思います。

大橋委員長 私の所属する団体で、先月この会場で、無料で Ubuntu というリナックスについての講習会を行い、40数名受講されました。場合によっては、ITサポートセンターの方達に講習会をしてもよいかと思います。新しいパソコン技術についても考えていただければと思います。日本も2007年7月から政府関係はワードとかエクセルもウインドウズも新しく購入しないという方向になっているのです。ですからやはり、ウインドウズだけでなく、リナックスやマックも含めて、公的機関ですから、偏らない方がよろしいかと思います。他にありますか。

君塚委員 「裁判員制度のあらまし」については、非常に重要な講座だと思います。参加者がそう多くはなかったようですが、今後も継続して実施して欲しいと個人的には思っているのですが、そういう方向性でいかれるのでしょうか。

中嶋館長 重要です。実際に自分が当たってしまったらどうしようという不安もあるかと思われます。極力こういう機会を使って、しかも無料で講師や資料を提供されますので、今後も引き続き実施し、皆さんに理解していただきたいと思っております。

大橋委員長 1年に1回、12月に発送されるのですよね。そういった方対象にも、時期を見計らって実施してはどうかと思います。

中嶋館長 司法機関が実施するので、講師の派遣も資料の提供もされるというこの機会を利用して実施したいと思います。

大橋委員長 義務付けられているわけですから、当然無料で手当てをするべきだと思います。あと、私が実施しているもので申し上げたいのですが、「団塊の世代対象講座」です。同様の講座を教育委員会主催で私どもも実施しています。地域参加をテーマに実施しています。アンケートをとりますと、退職後、地域活動をしたいという方は多く、6割くらいです。残りは何もしたくないという方です。情報が無い。参加する機会がないというのです。

殆どの方が家に埋もれている。地域の情報を提供する場を是非作って欲しい。例えば文化財センターに行った事のある方は殆どいない。東京農工大学の博物館も初めて来た方が殆どでした。たてもの園はさすがに皆さんご存知で、行かれたことがあるようです。あと小金井のことは殆ど知らないのですね。そういう方に情報を提供して欲しい。私も講師をしていて、是非公民館に来て欲しいという話をする予定にしています。退職した人が地域活動、地域のことに参加できる機会を是非作って欲しいと思います。出会いとしてこれはこれで結構なのですが、その先ですね。そういう企画をして欲しいと思います。その他ありませんか。無ければその他をお願いします。

(4) その他

ア 三者懇談会について

中嶋館長 本日、午後1時～午後2時45分まで、本館学習室A、Bのこちらで、公民館運営審議会委員、社会教育委員、図書館協議会の三者による懇談会を実施いたしました。活発なご意見もいただきました。当日都合が悪くてお見えにならなかった委員もいらっしゃいますので、ご参加された委員からご感想などをお願いいたします。

大橋委員 結果的には大変いい会になりました。例えば社会教育委員の会議からはネットワークについて話がありました。説明すると長くなりますので、キーワードとしてですが。私の方からは、公民館基本方針について、いきさつとか、市民参加、地域との連携、情報発信の3本柱が重要であり、これらをこれから実施していくとの話をしました。それから公民館研究大会、先ほど渡辺さんが話された講座の話とか三者合同研修会の話をしました。図書館は図書館の運営についての話でした。三者の会議のテーマ的なことはネットワークづくりでした。部長から提案として、三者それぞれの既存の会議の1回を合同で実施してはどうかという案があげられました。来年度から合同の会議が1回入ることになると思います。まずそこから始めようということになりました。社会教育委員が全体として取組むという空気が出てきました。来年度から合同の会議が1回入ることになると思います。大変良い会議であったと思います。

内古閑委員 私もだいぶ前から横のネットワークについては聞いていたのですが、一歩前に出たかなという気がしています。皆さんから忌憚のない意見を出すことがまず始めで、前進して、焦点が絞れたらよいのではと思いました。

長田委員 毎回今のネットワーク作りの話は聞いておりましたが、なかなか進まなくて、部長からのお話があり、大変良かったなという印象を持ちました。

竹内委員 今回初めて参加しましたが、今まで公民館の中だけしか眼がいかんかったし、情報もあまりなかったのですが、同じ社会教育行政の一翼を担っている機関同士で連携が取れそうな、一歩前進した印象を持ちました。

大橋委員長 公民館運営審議会の会議も少し変わるかと思っています。よろしくお願いたします。

中嶋館長 例えば、図書館協議会は年3回しかないのです。社会教育委員の会議は

10回と小委員会分、公民館は10回分予算措置してありますが、合同で1回取られてしまうと、図書館の方がたちいなくなるのではという心配もあります。生涯学習部全体での回数、予算も含めて検討しなければならないかとは思っています。

大橋委員 ネットワーク作りは大変大事なことです。大事なことは優先して、その他のことはあとで考えればよろしいのではないかと思います。それでは次お願いします。

イ 次回日程について

次回日程ですが、平成21年4月24日（金）午後3時から学習室A・Bのこちらで行います。その他はありません。

大橋委員長 それでは協議事項に移りたいと思います。

2 協議事項

(1) 平成21年度東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員の選出について

中嶋館長 平成21年度東京都公民館連絡協議会定期総会が、平成21年4月15日（水）午後2時から多摩市立永山公民館で行われます。そちらに出席していただく代議員の選出ですが、2名決めていただきたいのですが。

大橋委員長 私は出席します。もう一人どなたかお願いします。

中嶋館長 旅費については措置しております。

長田委員 何時頃終わるのですか。

中嶋館長 正味1時間くらいかと思います。

長田委員 私が出席いたします。

大橋委員長 2名ということによろしいですか。

中嶋館長 ありがとうございます。

大橋委員長 次お願いします。

3 審議事項

(1) 各館事業の計画について

中嶋館長 各館から事業の特色などをご説明いたします。先程緑分館の追加分について配付させていただきました。本館からご説明いたします。「にほんごで国際交流」につきましては、前回に説明をいたしましたので、次からお願いいたします。

松本事業係長 本館では「顔面紙芝居」を4月18日、19日と開催する福祉会館まつりの中で行います。4月18日（土）午前11時30分から午後1時30分まで行います。既に出演される方とは打ち合わせをさせていただきましたが、どういうものを申しあげますと、紙芝居がありまして、絵が描いてありまして、顔の部分だけ穴が開いておりまして、演者はそこから顔を出しまして次々に場面を変えていきながら面白いことをやっていくというものです。小学生を対象としていまして、福祉会館にも小さいお子さんに気軽に来ていただきたいと企画いたしました。近隣の小学校にもちらしを配る予定です。小金井公園や井の頭公園でも活躍されている評判の良い

方で、CDもありまして、お子さんの興味をひく内容となっております。以上です。

鈴木主査

本町分館です。先程報告いたしました菜園教室を21年度も計画しており、4月から始まります。4月15日から3月10日の予定です。時間は10時から正午で、講師は市内在住の農業研究家、鴨下義昭さんです。既に3月の市報でも募集中です。31日まで受付なのですが、今日現在で24人定員のところ42人応募があります。20年度は3班に分けて21人でしたが、21年度については先程申し上げましたように、耕作地が契約上増えましたので、6人ずつ4班で24人ということで行っていきたいと思います。抽選です。先生からも要望がありまして、今までの経過が分かる方が少し必要だということで、リピーターの方も多少入れまして、他が抽選となります。他の菜園教室を実施している分館もこれから始まりますが、分館同士で連絡を取り合いまして、重複のないようにやっていきたいと思っております。

渡辺主査

貫井南分館です。成人学校「江戸野菜に親しもう」ということで、4月の6日から始まりまして、3月15日までで、合計約50回。定員は24名、実はもう締め切っております、どうしても24名で収まりが付かなくて25名受け入れました。場所は学芸大学の環境教育実践施設。江戸時代に作られていた野菜を扱いたいということが目的なのですが、実際は種とか苗というのは入手困難で、1年中コンスタントに入手できるものでもなく、春の時期は手に入りやすいのですが、他の時期には難しい、また、手に入っても発育が困難だったり等の理由があり、江戸野菜だけでなく、一般的に使われている野菜も混ぜて作っております。小金井でも東京江戸野菜ということで、マスコミ等でも騒がれていますが、実際の商業ベースに載せるにはなかなか困難があるという話も聴いています。もう1点は、小菅村で五穀米を作っているものを見学したり、東京都の農業試験場に江戸野菜の研究を見学に行ったりして、できるだけ勉強もしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

若藤主査

東分館です。成人学校「文学とスマレ」と題しまして、スマレは時期的に4月に咲くものですので、期間限定でこの時期に企画しました。昨年「身近な万葉植物をたずねて」という講座を実施した際の講師の大石征男さんから是非来年はスマレの企画をやりたくて申し出がありましたので、企画実行委員の会でも検討しました結果、今回企画させていただきました。具体的には、3回シリーズで、1日目は裏高尾というスマレが咲いている地区に野外研修ということで、参加者を連れていく予定であります。実際に見た後にあと2日間は公民館東分館の方で座学ということで、高樋信也先生という万葉植物を研究されている方に講義をしていただく予定です。スマレは日本人には馴染みがあり、昔から万葉集や江戸時代の文学でも取り上げられていて、外国の文学でもスマレに関する記述がうたわれているものかなりあり、時代を問わず愛されているスマレを実際に見ながら、文学を通して学ぼうという趣旨で企画いたしました。葉書で募集しております、今日現在定員30名のところ、20名くらいの応募ですが、20名

でも十分講座としては成り立ちますし、いいものになると思っておりますので、是非とも成功させたいと思っております。

長堀主査

東分館です。全部で4件ありまして、今の1件のほかあと3件あります。成人学校「新緑をたずねて」これは4月24日の1回単発の講座です。昨年秋に「むかしみちをあるく」という1回単発の講座を実施した実績から、1日だけ外を歩く講座も公民館に親しんでもらうという意味ではよいのではないかということで、春と秋に1回ずつ単発の講座を実施するということで計画し、春の講座ということで企画いたしました。御岳山周辺を約3時間歩く予定です。ケーブルカーで御岳山駅から出発しまして、御岳神社を通過して、その先ロックガーデンを1週して戻ってくるということで、登山ではありませんが、山道を歩きますので、3時間から4時間くらい歩ける方という条件をつけて、市報では募集しています。講師の方は御岳ビジターセンターの片柳さんともう1人の合計2人の方がガイドとして同行することになっています。3つ目は、「小金井の今昔を知ろう」第3弾、5月9日から10月10日まで、8月を除き全5回、月1回開催の講座です。昨年、一昨年と2年続けた講座でして、午前中2時間市内を歩かして、午後、その解散地点で部屋を確保して2時間講義を受けるという全日の講座です。ハードなスケジュールになりますが、昨年実施した実績から、今歩いてきた場所について午後すぐに学べるという講座で、大変充実した内容でしたので、今年も同様に実施いたします。昨年生涯学習課から発行しました、商店でも販売されています「こがねい郷土かるた」が大変良くできたカルタですので、「こがねい郷土かるたにうたわれた世界」というテーマで、今回実施いたします。現在、ポスター、チラシなどを配付して募集中です。最後に高齢者学級。例年実施しているものですが、今年も東分館の高齢者学級は2クラス、栗の実学級火曜会と木曜会の2コース制で実施いたします。こちらについては4月15日号の市報で募集しますが、チラシは既に東分館においてあります。非常に雑駁ですが、以上です。

松本事業係長

緑分館の計画ですが、ご覧のとおりなのですが、「生活日本語教室」、これは1年間、49回にわたりまして、生活日本語ボランティアスタッフ20名の講師による市内緑町地域にお住まいの外国人の方と日本の習慣や生活を学習し、それから交流をしていただくということで実施します。「共働夢農園」については、野菜作りコース、ハーブ栽培コース、親子コースとして、東町の農園で行います。それから「庭木剪定入門」ということで、これも例年実施しているものです。講師は植木アドバイザー他となっておりますが、講師だけでなく、公民館事業から自主グループができた緑剪定グループの協力も得て行うものです。以上です。

大橋委員長

質問とかご意見がありましたら。あとは年間計画ですか。

中嶋館長

差し替え分をご配付しております。特徴的な点をご説明とも思ったのですが、時間もかなりおしてきておりますので。

大橋委員長

これをやっているのはとても時間内に終わりませんので、各館のまつり等も入っておりますので、次回にお願いしたいと思います。その他ありませんか。それでは、次に第29期公民館運営審議会のまとめについての提案

をお願いします。

(2) 第29期公民館運営審議会のまとめについて

中嶋館長 第29期公民館運営審議会のまとめについてですが、8月には審議会がございませんので、7月に提出が可能な形になるような段取りで作成されてはいかがかと思うのですが。

大橋委員長 5月22日の審議会の際に個人ごとにお作りいただき分をご提出いただき、6月26日の審議会に全体の素案を検討いただき、7月24日には最終案の確認をし、8月の研究大会の分の記録を補足で加えて9月の日付で提出という段取りでいかがでしょうか。

中嶋館長 事務局もサポートいたしますので、よろしく願いいたします。

大橋委員長 (3) その他をお願いします。

(3) その他

ア 第47回公民館研究大会企画委員及び委員部会運営委員の選出について

中嶋館長 第47回公民館研究大会企画委員と公民館運営審議会委員部会の運営委員について、公民館運営審議会委員の方から選出をお願いいたします。

大橋委員長 企画委員は2名だけでなく何名でもよろしいのですね。

渡辺社会教育主事 上限はありません。

大橋委員長 特に小金井市で実施するわけですから。是非小金井で成功させなければなりませんので。全員でやってもよいと思うのですが。

中嶋館長 私も小金井で第44回の研究大会を実施した折に、その前1年間稲城市で開催された企画委員を引き受けました。いい横のつながり、各市の状況が判り、とてもいい経験になりました。欠席はやむを得ないということもありますから、そういった点も踏まえてご参集していただければと思うのですが。ただ、平日、日中お仕事のある方は無理かとも思います。

大橋委員長 私も町田市の研究大会のときの企画委員を引き受けまして、他の市の公民館の方と交流ができてよかったです。逆に出席ができないという方にお申し出いただいた方がよいかもしれません。

木村委員 1時半にはとても無理です。

君塚委員 私も金曜日は大学の仕事が入っておりますので。

道城委員 私も今回は無理です。以前稲城市で、研究大会が行われた年に、企画委員として出席させていただきましたが、大変勉強になりました。ただ、他市の公民館関係者の方々と話し合いの上、分担してやっていくので、都合の悪いときは欠席はやむを得ないといっても、できればやはり出席できる方向でお引き受けしないとつらいかなと思います。熱が入ってくればくるほど打ち合わせ等の出席回数も増えますし、企画事として作りあげなければならないので、やはりある程度こなせないと内容が把握できずに困るとい実情があります。

渡辺社会教育主事 そうですね。やはりそれなりの責任もありますし。

佐野委員 すみません。私も金曜日は仕事が入っておりますので。

竹内委員 私も申し訳ないのですが。

内古閑委員 私もまた科学の祭典が入ってしまっているのです。

大橋委員長 長田委員はいかがですか。熊谷委員にも商工会の関係で入っていただいた方がよろしいですね。

中嶋館長 熊谷委員もお忙しい方ですので。1回目は木曜日、2回目から金曜日です。

大橋委員長 曜日が決まっていた方がいいですね。長田さんはいかがですか。

長田委員 引き受けてもいいのですが、金曜日はこの前に用事が入っているものから、時間に間に合うかどうか。

渡辺社会教育主事 時間が遅い方がよろしいのであれば、委員部会はどうですか。

長田委員 委員部会というのは。

中嶋館長 公民館運営審議会委員の委員部会です。

長田委員 それはいつやるのですか。

渡辺社会教育主事 確定していないのです。企画委員会の終了後にやる場合もありますし、それとは別に都公連の会長市の役員会の後に開催されることもありますし。それは都公連に集まる各市の委員の皆さんで決めるので、ここでは決められないのです。ただ、会長市の稲城市か小金井市のどちらかでやる確率が高いです。

長堀主査 去年は会長市の多摩市で開催されましたので、それと同様ですと、今年は稲城市で開催されることになります。

大橋委員長 2名ということ。

長田委員 金曜日に急いでくることにします。

中嶋館長 ありがとうございます。

大橋委員長 委員部会はどうでしょうか。君塚委員はどうですか。

君塚委員 4月以降いろいろな役を引き受けていまして、やりたいのはやまやまなのですが。

大橋委員長 金曜日とは限らないのですよね。熊谷委員、いかがですか。

熊谷委員 研究大会の企画委員ですか。

大橋委員長 研究大会の企画委員の方がよろしいですか。

熊谷委員 そちらの方がいいです。

長田委員 替わります。ただ、金曜日の午前中はだめですから。

大橋委員長 それでは、委員部会委員は長田委員に、企画委員は熊谷委員と私ということで、よろしく願いいたします。その他にありますか。

中嶋館長 私事ですが、この審議会を持ちまして、私は定年退職となります。通常でしたらこの場におります緑分館葛城主査、貫井南分館渡辺主査も私と同様に定年退職となります。本当に長い間ご審議等にご尽力いただきまして誠にありがとうございました。4月1日付けの人事異動につきましては、4月の公民館運営審議会でご紹介があります。今後ともよろしく願いいたします。

委員 お疲れ様でした。

大橋委員長 それでは、本日の第16回公民館運営審議会は終了させていただきます。

中嶋館長 どうもありがとうございました。